

学校だより

第10号
令和7年度

いつも心に「あいいうえお」

令和7年 4月12日（土）

発行：那覇尚学院高等専修学校

文責：校長 初鹿野修

進級、入学 おめでとうございます。

1年生のあなたの努力は、目覚ましく、大きな一歩（進化）をしっかりと踏み出してくれました。今年は深化です。2年生として、先輩として、あなたの学びを期待するとともに、教職員はしっかり支えます。今年もジャンプ！

新入生として今日から仲間です。2年生も教職員も一緒にの共同体です。一つ一つ進化させましょう。「一人も独りにしない」のが、本校のモットーです。いつでもどこでも誰にでも、頼ることを遠慮しないこと。いつも一緒です。

令和7年度 高等専修学校2年目の教育実践

全生徒2名、教職員3名の新しい組織で令和7年度的那覇尚学院高等専修学校の2年目の教育活動がスタートしました。昨年は生徒も保護者も教職員も一緒になっての学校づくり、小さな一歩ですが、大きな基礎土台をつくってきました。「学び合う学び」を今年は押し進めます。学校と家庭が、それぞれの役割をしっかりと果たすことで生徒は変わります。新しい本校の歴史と伝統をつくるために 2年目の新たなステージの開幕です。今年も職員一同、生徒主体の学校づくりを大切に頑張りたいと思います



わたしは・・・



わたしは勉強する



わたしとあなたと学ぶ

私は、あなたと学ぶ 私は、あなたと育つ
それは、学校という場に、仲間がいるから

学校は、学力をつける場だ 学校は、規律と学ぶ場だ 学校は、楽しみのもてる場だ

そんな学校にするために、「きき合う関係」「支え合う関係」と

生徒も、保護者も、教職員も、築いていくことが「学びの共同体」になること

「分からない」「教えて」からはじまる学びと大切に

人生の折り返しとしての儀式

儀式として行われる入学式は、学校教育において大きな節目に当たるもので、生徒個人にとっても、人生の折り返しとして重要な意義を持つものだと思います。文科省の学習指導要領・特別活動には「学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清新な気分を味わい新しい生活の展開への動機付けになるように活動を行うこと」とあります。当事者意識で望ませたいです

今年も 校長の「いつも心にあいいうえお」

あ：いつでもどこでもだれにでもあいさつ

い：なんでもいっしょうけんめい

う：うたごえおおきく

え：えがおで

お：おもいやり のある高等専修の生徒・職員

～ 職員紹介 ～

※非常勤の先生方は次回

校長 初鹿野 修

：県立特別支援学校・公立小・在外教育施設・行政（市教委）で37年間勤務。その後、専門学校で幼・小教員養成の教職科目や留学生の授業を担当。その後現職

・子ども発達障害支援アドバイザー

・児童発達支援士

・不登校引きこもり支援アドバイザー

・メンタル心理カウンセラー

教務主任 平安山雅矢：

：英語・日本語講師として県内専門学校で12年勤務。R6より那覇尚学院高等専修学校職員として勤務。

・登録日本語教員（国家資格）

事務・PC 下地 美鈴

：県内専門学校事務員として6年間勤務。現在、日本語講師として系列校の「留学生」の授業も担当している

・日本語教師資格